

第1回 羽田空港の機能・施設等に関する検討会 議事要旨

日時：令和5年10月4日（水）15:30～17:30

場所：中央合同庁舎第2号館12階 国際会議室

議事要旨

- 互選の結果、慶応義塾大学商学部教授 加藤一誠氏が座長として選任された。
- 事務局より、「検討会開催の趣旨」、「旧整備場地区の嵩上げ事業の経緯」等について、資料に基づき説明を行い、構成員より質問及び意見が述べられた。
- 事務局より、12月以降に現地視察を実施し、年度内には「考え方」を取りまとめる予定である旨の説明を行った。

（構成員からの主な発言）

- 議論の対象を限定しなければ、影響の及ぶ範囲が「羽田全体」「他の空港」と拡大しかねない。今回は「旧整備場地区における既存民間施設の取扱い」と、議題を絞って議論し、まとめることが重要。
- 「旧整備場地区の嵩上げ事業における既存民間施設の取扱い」に関しては、従前より行ってきた国有財産使用許可により対応する形で進めることでよいのではないかと。
- 限りある土地を、いかに有効に使用するかが重要。時代も変わり技術・制度も変化してきているところ、施設の必要性等は事業者・当局共によく確認し、無駄の無いように努めていただきたい。
- オブザーバーとして参加した大田区にも発言をいただいた。
（内容以下のとおり）
 - ・ 旧整備場地区のすぐ対岸は一般的な区域。工事に着手し始めれば、工事車両や機材の出入り等影響が生じると考えられるので、地域住民への丁寧な説明に協力いただきたい。

以上